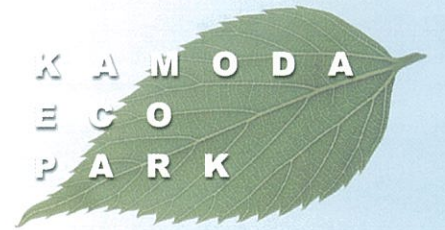


# 美しい自然と人々の生活環境を守って いくために。



## ごあいさつ



管理者 北名古屋市長 **太田 考則**



副管理者 豊山町長 **鈴木 邦尚**

北名古屋衛生組合を構成する北名古屋市と豊山町では、し尿及び浄化槽汚泥をこれまで全量海洋投入処分をしてきましたが、生活及び海洋環境の保全のため、陸上で衛生的にし尿及び浄化槽汚泥を処理するために、平成14年度から3か年をかけて「鴨田エコパーク」を建設いたしました。

この施設は、従来のし尿・浄化槽汚泥の処理だけでなく、資源が再利用できる画期的な施設といたしました。し尿・浄化槽汚泥の処理方式は、浄化槽対応型膜分離高負荷生物脱窒素処理方式を採用し、高度処理設備も付加して放流水質や臭気対策についても万全を期しています。また、資源の再生方法は、し尿処理汚泥と生ごみを混合してメタン発酵を行い、発電に活用するとともに堆肥としても利用します。

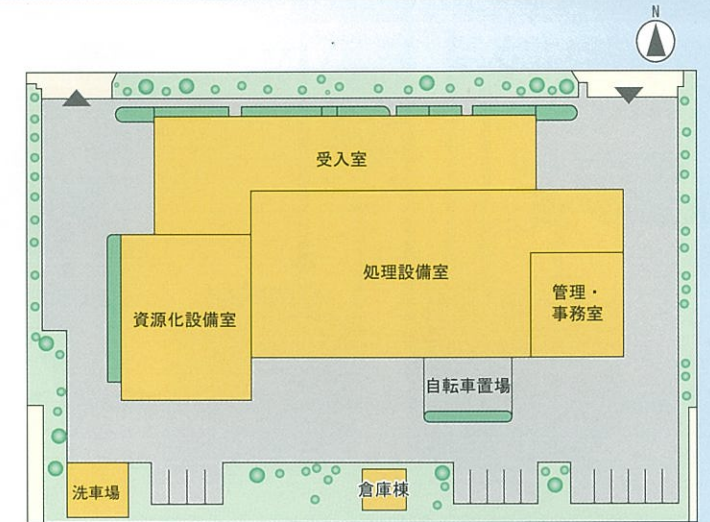
この施設の完成により、長期的に安定した適正なし尿や汚泥処理が可能となり、衛生的で快適な生活環境の実現に大きく寄与するものと確信しています。

最後に本施設建設に際し、深いご理解とご協力をいただきました地元の皆さまをはじめ、関係各位に対し心より感謝を申し上げますとともに、今後の施設運営に際しましてもなお一層のご協力ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 施設概要

- 所在地 愛知県北名古屋市九之坪五反地80番地
- 処理方式 膜分離高負荷脱窒素処理方式（浄化槽汚泥対応型）  
+ 高度処理  
+ 資源化（メタン発酵 + 堆肥化）
- 処理能力 し尿・浄化槽汚泥 110kℓ/日  
生ごみ 7.14ton/日
- 敷地面積 7,000.32m<sup>2</sup>
- 建築面積 2,866.54m<sup>2</sup>
- 延床面積 5,834.40m<sup>2</sup>      管理・処理棟5,778.72m<sup>2</sup>  
倉庫棟39.65m<sup>2</sup>      自転車置場16.03m<sup>2</sup>
- 着工 平成14年7月2日
- 竣工 平成17年3月18日
- 総事業費 4,963,157,643円
- 内訳 工事費 4,273,500,000円  
設計監理費 108,173,156円  
用地費 581,484,487円
- 財源内訳 国庫補助金 1,113,699,000円  
起債 3,370,400,000円  
一般財源 479,058,643円

## 施設配置図



## システムの概要

### アタカDMシステム

アタカDMシステムでは、硝化反応と脱窒反応を単一槽で無希釈にて行い、攪拌・ばっ気装置としてDTA（ドラフトチューブエアレーター）を用いています。DTAは、し尿のような高濃度の排水から浄化槽汚泥やメタン発酵汚泥の脱水ろ液のような中濃度の排水まで高効率な攪拌とばっ気を行うことができます。

硝化脱窒素槽では、単一槽でプロフによる空気の供給（好気）と停止（嫌気）を時間的に区分し、硝化反応と脱窒反応を繰り返し、高度な窒素除去を行います。

硝化菌脱窒素菌を含む硝化脱窒素槽の汚泥濃度は、後段の膜分離装置により高濃度に維持することができ、窒素除去反応を効率的に行うことができます。

### メタン発酵処理

溶解させた生ごみと脱水汚泥は、メタン発酵槽に投入され、16日間滞留し、メタン発酵します。

槽内は55℃の高温嫌気状態（酸素のない状態）に保たれ、機械攪拌・ガス攪拌・ポンプ循環の3つの攪拌方式により高速メタン発酵が可能です。

発生したメタンガスはガスホルダーに一旦貯留し、メタンガス発電装置により発電し、電気と温水を回収します。回収した再資源エネルギーは施設内で有効利用します。

## 工程別処理水



除渣し尿 硝化脱窒素処理水 膜透過水 活性炭処理水

### 放流水質

pH	5.8~8.6
BOD	10mg/ℓ以下
COD	20mg/ℓ以下
SS	5mg/ℓ以下
T-N	10mg/ℓ以下
T-P	1mg/ℓ以下
色度	30度以下
大腸菌数	3,000個/cm <sup>3</sup> 以下

